北海道電力㈱　総合研究所　研究グループ紹介

環境技術グループ

電力設備の腐食診断・対策技術、火力発電所の排ガス処理、石炭灰リサイクル用途の拡大、発電所冷却水の取水障害となる生物への対策などの研究に取り組んでいます。
“材料・化学・生物”分野での基礎研究を活かし、現場トラブルの迅速な原因究明や、学会活動・共同研究を通した最新技術情報の取得、あるいは道内の農水産分野への展開など、当社設備の課題解決をベースにしつつ、情報発信や地域振興など社内外への幅広い貢献を目指しています。

グループの役割

- 分析技術を活かした電力設備保全や石炭灰リサクルを推進し、電力の安定供給およびコストダウンに寄与
- 現場トラブルの迅速な原因究明およびメーカ評価結果のクロスチェック試験などによる客観的データの提供
- 農水産分野の知見を活かした地域活性化への支援

研究テーマ、代表的な成果

- 乾式脱硫技術の海外事業拡大に向けた高性能脱硫剤の開発に関する研究
- 火力発電所脱硝触媒の性能評価に関する研究
- 石炭の自然発熱性、付着性評価技術に関する研究
- 石炭灰の有効利用拡大に関する研究
- 光技術を応用した農産物の鮮度保持に関する研究
- ジャガイモの緑化防止用照明装置（商標：ポテライト）の用途拡大に向けた研究
- 発電所取水路へのムラサキイガイ類流入低減方法に関する研究
- 電力設備の着氷雪対策に向けた塗装方法に関する研究
- 送電設備の腐食診断および塗装技術の高度化に関する研究
- パンザーマスト腐食診断、電気防食評価装置の開発

火力発電所環境設備の安定運転・コスト低減に資する脱硫・脱硝触媒の性能試験装置

ポテライトが照明による緑化を抑制することで、搬出・保管の作業性・安全性が向上したジャガイモ保管庫

保有技術、研究設備、所属学会

- 腐食防食技術、化学分析技術、生物評価技術（魚介類、植物）、材料加工技術、など
- 質量分析装置、蛍光Ｘ線装置、Ｘ線回折装置、粒度分布計、分光光度計、など
- 腐食防食学会、表面技術協会、火力原子力発電技術協会、水産学会、照明学会、など